

2. アルバイトの誘い

先生： あっ、^{やまだくん}山田君、ちょうどいいところに。

学生： はい、なんでしょうか。

先生： 前に、^{まえ}研究に^{けんきゅう}役立つ^{やくた}ような^{ところ}所でバイトをした^いって言ってたよね。

学生： はい。

先生： 実は、^{じつ}私^{わたし}の^し知り^あ合^あいの先生が、^{ちょうさ}調査を^{てつた}手伝ってくれる人を探^{さが}してるんだけど、

山田君、どうだろう？

学生： あー、ありがとうございます。でも、あの一、^{はなし}お話は^{たいへん}大変ありがたいんですが、

実は、^{こんげつ}今月から、^{せんぱい}先輩の^{しょくば}職場でアルバイトをさせていただいているんです。

先生： そうなの？

学生： 先生にも、^しお知らせしようと思^{おも}っていたんですが、ちょっと^{いそが}忙しくて、

^{れんらく}ご連絡するのを^{わす}忘れていました。^{もう}申し^{わけ}訳ありません・・・。

先生： うんー、でも、それは^{よか}良かったね。

学生： ありがとうございます。

先生： そうかー、^{ざんねん}残念だな。いい話^{まいいち}なんだけどね。そのアルバイトは毎日なの？

^{しゅう}週に何回か、^{なんかい}他の^{ほか}ところに行くのは^い難しいかな。^{むずか}

学生：アルバイトは毎日じゃないんですが、今年修論を書かなくてはなりませんし、

少し時間に余裕を持っておきたいんです。

先生に、せっかくお気遣いいただいたのに、お応えできなくてすみません。

あ、そういえば。

先生：誰かいる？

学生：M1の田中さんも、同じようなバイトを探していました。

先生：ああ、田中さん……。興味あるかな。ちょっと話しておいてもらえるかな。

学生：はい、ちょうどこれから会いますので、話してみます。

後ほど、ご連絡いたします。メールでよろしいですか。

先生：いいですよ。

学生：色々ありがとうございました。では、失礼いたします。